

1 今後の収支見通し

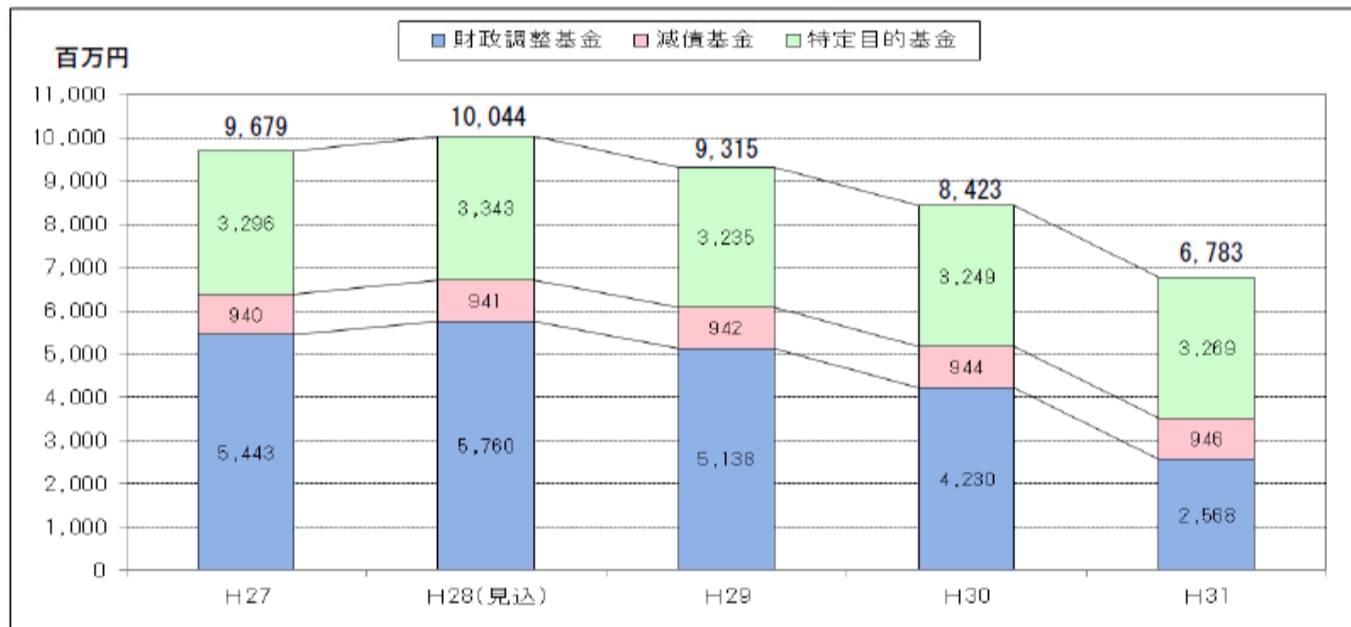
○市税、地方交付税の減や、普通建設事業費の増により、平成29年度以降財源不足が発生。(平成31年度末までで約▲21億円)

(単位：百万円)

歳入	H27	H28(見込)	H29	H30	H31	H27~31
市税	2,558	2,554	2,515	2,419	2,377	12,423
地方交付税	7,045	6,701	6,550	6,315	6,142	32,753
うち普通交付税	6,380	6,022	5,900	5,665	5,492	29,459
国・県支出金	2,296	2,366	2,070	2,194	2,519	11,445
市債	1,323	1,845	2,327	3,537	2,806	11,838
その他	2,327	2,354	1,745	1,661	1,644	9,731
歳入合計 ①	15,549	15,820	15,207	16,126	15,488	78,190
歳出	H27	H28(見込)	H29	H30	H31	H27~31
人件費	3,107	3,163	3,271	3,272	3,286	16,099
うち職員給	1,970	2,050	2,047	2,044	2,058	10,169
扶助費	1,695	1,806	1,743	1,762	1,785	8,791
公債費	1,904	1,858	1,918	1,942	2,015	9,637
うち元金償還金	1,688	1,667	1,749	1,777	1,848	8,729
投資的経費	1,677	2,513	2,832	4,244	3,845	15,111
補助費等その他	6,407	6,088	6,073	5,823	6,227	30,618
歳出合計 ②	14,790	15,428	15,837	17,043	17,158	80,256
収支(①-②)	759	392	▲630	▲917	▲1,670	▲2,066

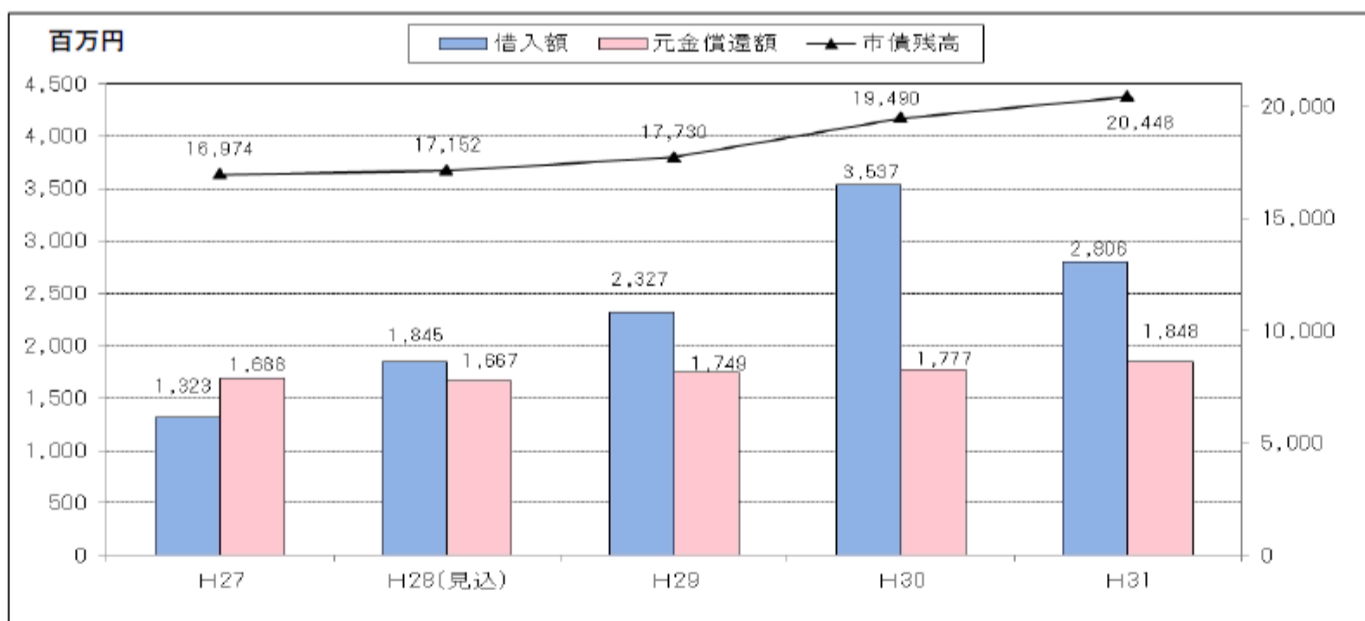
2 基金(貯金)の見込み

○財源不足に対応するために取り崩す。(平成27年度~平成31年度 ▲29億円)



3 市債(借金)残高の見込み

○当面の間、借入額が償還額を上回るため、市債残高は増加する。(平成31年度末 204億円)



※財政状況を鑑みると、施策の選択と集中が必要

[参考]

総合病院新設：約300億円(安佐市民病院) 道の駅新設：約13億円(竹原) 公園整備：34億円(せら県民公園)
 ※整備費のみ。施設の運営や維持管理経費が毎年別に必要となる。